

米、AIルール主導狙う 欧中念頭、大物CEO議会集結 マスク氏、規制機関は重要/ザッカーバーグ氏、標準を定義

2023/9/15付 | 日本経済新聞 朝刊

【シリコンバレー=渡辺直樹、ワシントン=飛田臨太郎】米連邦議会の超党派議員は13日、米Googleやメタなど巨大テクノロジー企業のトップらを集め、人工知能（AI）を巡るルールを話し合う会議を開いた。偽情報の防止など安全な利用に向けた法整備の方向性を確認した。欧州や中国を念頭に、国際的なルールづくりで主導権を握る狙いがある。

AI規制に対する主な発言

マスク氏(テスラCEO)

独立したAI規制機関ができる可能性はあると思う

ザッカーバーグ氏(メタCEO)

米国が引き続きリードし、世界が使用する技術標準を定義することが重要だ

アルトマン氏(オープンAI CEO)

新たな機関を設けるのが最も理にかなっている

ゲイツ氏(マイクロソフト共同創業者)

(AIは)世界の飢餓に対処するのに役立つ可能性がある

シューマー氏(民主党・上院院内総務)

革新と安全の両方を優先させる

(注)一部は会議前後の発言、米メディア報道含む

「AIインサイトフォーラム」と題する特別会議の第1回をワシントンで開き、60人を超える議員と企業関係者、専門家が集まって議論した。

会議には米オープンAIのサム・アルトマン最高経営責任者（CEO）、Googleのスティーブ・ピチャイCEO、メタのマーク・ザッカーバーグCEO、米テスラのイーロン・マスクCEO、米マイクロソフトのビル・ゲイツ共同創業者らが参加した。各社トップが一堂に会するのは珍しい。

「米国がこの分野を引き続きリードし、世界が使用する技術標準を定義することが重要だ」。ザッカーバーグCEOは冒頭の挨拶でこう話し、米議会と企業が連携してルールづくり

を進めるべきだと強調した。



マスク氏は独立した規制機関に言及した（13日、ワシントン）=ロイター

自らAI新会社を設立したマスク氏は記者団の取材に対し「スポーツの試合に審判がいるように、（AIに）規制当局があることは重要だと考えている」と語った。「米連邦航空局（FAA）や米連邦通信委員会（FCC）のように独立したAIの規制機関ができる可能性はあると思う」とも述べた。

会議を仕切った与党・民主党の上院トップ、シューマー院内総務が政府によるAI規制の必要性に同意するか出席者に挙手を求めたところ、企業側の多くが手を挙げたという。

マスク氏は「彼ら（各トップ）が手を挙げたという事実から判断すると、AIを規制すべきだという強いコンセンサスがあることが明らかだと思う」と述べた。

生成AIの登場によりAIの開発や利用を巡るルールづくりが各国で議論されている。5月の主要7カ国首脳会議（G7広島サミット）ではAIの国際ルールに向けた見解を年内に取りまとめることで合意した。

米議会は国際ルールの議論を米国が主導し、AIの分野で自国のハイテク産業の優位を保ちたい考えだ。企業側は官民の協議によって過度の規制を避け、民間の意見を踏まえたルールの下で開発の自由度を確保する狙いがある。

シューマー氏はAI開発を加速する中国などを念頭に「米国が後れを取れば、国家安全保障に悪影響を及ぼす可能性がある」と説明した。「AIが社会に定着してからでは遅すぎる」と早期の法整備に意欲を示し、「イノベーション（革新）と安全の両方を優先させる」と強調した。

会議に参加した超党派議員は法案の柱として企業の説明責任などを掲げた。AIシステムが特定の答えを導き出した理由について、関連企業に透明性を高める取り組みを求める。偽情報の拡散を抑えるための方策についても議論した。

法制化の動きでは欧州連合（EU）の議論が先行する。EUは透明性や消費者保護の観点からAIを厳格に規制すべきだとの立場をとる。欧州議会で具体的な用途や規制体系を定めた「AI法案」を採択し、年内の最終決定をめざす。

米政府は出遅れを避けるため、7月にAI関連の主要企業と自主規制ルールの導入に合意した。法整備までのつなぎ措置と位置づけ、AIでつくった動画や文書に「AI製」と明示することなどを盛り込んだ。

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。

Nikkei Inc. No reproduction without permission.